

平成 29 年度 並木病院 臨床指標

1 施設基準

①基本診療料施設基準

療養病棟入院基本料 1・重症皮膚潰瘍管理加算・診療録管理体制加算 2  
療養病棟療養環境加算 1・総合評価加算

②特掲診療料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料 I・運動器リハビリテーション料 I  
医療機器安全管理料 I・神経学的検査・薬剤管理指導料・CT 撮影及び MRI 撮影  
下肢末梢動脈疾患指導管理加算・透析液水質確保加算 1・電子的診療情報評価料

③その他の基準・加算

入院食事療養費 1・在宅復帰機能強化加算

2 患者延数（過去 3 年）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
入院患者 延数	75,673	75,481	75,023
1日平均	206.8	206.8	205.5
外来患者 延数	9,497	9,428	8,630
1日平均	32.3	32.2	29.3

3 病床利用率（過去 3 年）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
全病棟	97.5%	97.6%	97.0%

4 医療区分 3・2 の割合（過去 3 年）

	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	区分3	区分2	区分3	区分2	区分3	区分2
全病棟	30.9%	54.8%	28.9%	58.0%	36.7%	49.0%

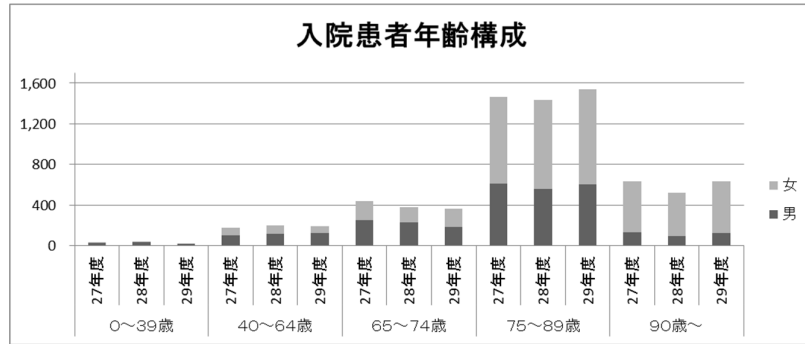
5 ADL 区分の割合

ADL区分3	ADL区分2	ADL区分1	総 数
60, 514	11, 482	3, 027	75, 023
80. 7%	15. 3%	4. 0%	100. 0%

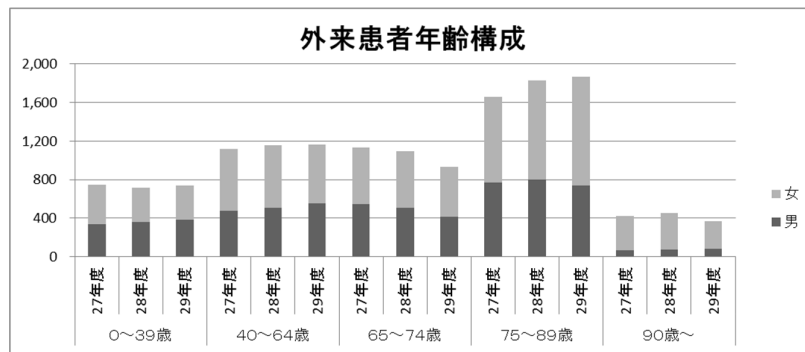
6 褥瘡（新規褥瘡発生率）

$\frac{\text{分母のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者}}{\text{調査月の新入院患者数+当月1日現在患者数}}$	0.68%（年平均）
---	------------

## 7 入院患者年齢構成



## 8 外来患者年齢構成



## 9 入院患者数と入院前状況

入院患者数 304名の入院前状況		
入院患者数	合計	比率
<b>【合計】</b>	304	
急性期病院	146	48.0%
急性期以外の病院	82	27.0%
介護老人保健施設	11	3.6%
自宅	53	17.4%
その他・福祉施設	12	3.9%

## 10 退院患者数と退院先状況

退院患者数 300名の退院先状況		
退院患者数	合計	比率
<b>【合計】</b>	300	
急性期病院	16	5.3%
急性期以外の病院	60	20.0%
介護老人保健施設	10	3.3%
自宅	38	12.7%
特別養護老人ホーム	13	4.3%
その他・福祉施設	9	3.0%
死亡	154	51.3%

## 11 退院患者疾病分類

退院302名の上位3位の疾病分類（ICD10分類）			
1、	I分類	循環器系疾患（心不全、脳血管疾患等）	26.2%
2、	G分類	神経系疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症等）	22.5%
3、	J分類	呼吸器系疾患（肺炎、慢性呼吸不全等）	19.2%
死亡154名の上位3位			
1、	J分類	呼吸器系疾患（肺炎、慢性呼吸不全等）	31.8%
2、	R分類	異常所見で他に分類されない（老衰、多臓器不全等）	24.7%
3、	I分類	循環器系疾患（心不全、脳血管疾患等）	15.6%
医療機関へ転院77名の上位3位			
1、	I分類	循環器系疾患（心不全、脳血管疾患等）	39.0%
2、	G分類	神経系疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症等）	20.8%
3、	N分類	腎尿路生殖器系疾患（腎不全、尿路系疾患等）	14.3%
在宅系（自宅38名、その他23名）61名の上位3位			
1、	I分類	循環器系疾患（心不全、脳血管疾患等）	32.8%
2、	G分類	神経系疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症等）	23.0%
3、	J分類	呼吸器系疾患（肺炎、慢性呼吸不全等）	14.8%

## 12 在宅復帰率

50.0%	平成 30 年 3 月
-------	-------------

## 13 リハビリ（平成 29 年度平均）

セラピスト配置人員数

理学療法士 14 名	作業療法士 6 名	言語聴覚士 12 名
------------	-----------	------------